

報道関係者各位

2008年1月28日(月)

デジタルハリウッド大学大学院 ヒットコンテンツ研究室

ヒット・プロデューサーのEQ能力測定結果から開発した

融合人材開発セミナー

「DPHP 研修 for ビジネス・プロデューサーズ」を

2008年2月より「株式会社ヒットコンテンツ研究所」が開始

NEC、NTTラーニングシステムズ、日本能率協会コンサルティング等の企業が実験参加

日本初の株式会社による専門職大学院であるデジタルハリウッド大学大学院(東京都千代田区学長:杉山知之 以下大学院)では、当大学院内に設置されている「ヒットコンテンツ研究室」(代表吉田就彦大学院教授、以下 HCL)の研究成果を基に、「株式会社ヒットコンテンツ研究所」(本社:東京都千代田区 代表取締役 吉田就彦 以下 HCL 社)では、開発した人材能力開発プログラム『DPHP(Development Program for Hit-Producers)』(以下「DPHP」という。)の実証実験を終え、2008年2月より、一般企業のビジネスパーソンを対象に、**融合人材開発セミナー「DPHP 研修 for ビジネス・プロデューサーズ(DPHP4BP)」**(以下「本セミナー」という。)を開始することとなりました。

本セミナーは、当大学院のHCLが、ヒット実績のあるコンテンツ・プロデューサーに対して行なったインタビュー及びEQ能力等の測定検査(以下「EQ検査」という。)により明らかになったコンテンツ・プロデューサーが持つEQ能力や行動特性の特徴を基にHCL社が開発した研修プログラムです。

DPHPは、EQ(Emotional Intelligence Quotient)理論、五感を活用したコミュニケーション心理学 NLP(Neuro-Linguistic Programming)理論、対人感性能力及び変化対応能力に効果があるPLAY(演劇)メソッドなどを応用したプログラムで、ヒット・プロデューサーの特徴的な行動特性 5UP1DOWN(ストレス対処、ノンバーバルスキル、対人問題解決力、情緒的感受性、状況モニタリング及び感情的被影響性)の開発に効果があることが実証されている人材能力開発プログラムです。

ヒット・プロデューサーが持つ特殊な能力は、いかにコンテンツ、サービス、技術などを融合させ、新たな付加価値を創出するかというデジタル時代ならではのビジネス人材像である「融合人材」の能力そのものであり、その能力及び行動特性を開発する本セミナーは、「融合人材」を育成するための能力開発プログラムとして期待されております。

本セミナーへは、日本電気株式会社(本社:東京都港区 代表取締役執行役員社長 矢野薫)、エヌ・ティ・ティラーニングシステムズ株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長 岡田昭彦)、株式会社日本能率協会コンサルティング(本社:東京都港区 代表取締役社長 秋山守由)などの企業が実験参加を表明しており、その効果検証をHCL社と共同で行なっていく予定です。



本セミナー概要

- タイトル： 融合人材開発セミナー「DPHP 研修 for ビジネス・プロデューサーズ (DPHP4BP)」
- 実施内容： EQ 能力や行動特性 5UP1DOWN 等を開発する EQ パート、NLP パート、PLAY パート、S-PLAY パートからなるワーク主体の全 30 時間、5 日間のセミナー。セミナー前後に 2 回の EQ 検査を実施。
- 対象者： 融合人材を指向する全てのビジネスパーソン
- 実施期間： 2008 年 2 月 16 日～3 月 16 日(この間に土曜日コース、日曜日コースを設定)
- 実施場所： 東京秋葉原のデジタルハリウッド大学大学院

本セミナー・カリキュラム概要(全 5 日講座、1 日 6 時間で、計 30 時間)

- 研修前： 第 1 回 EQ 検査事前実施
- 第 1 日： (土曜日コース 2 月 16 日、日曜日コース 2 月 17 日)
EQ パート～第 1 回 EQ 検査フィードバックと EQ 理論～
- 第 2 日： (土曜日コース 2 月 23 日、日曜日コース 2 月 24 日)
NLP パート ～効果的な目標設定とラポール(信頼関係)構築スキル～
- 第 3 日： (土曜日コース 3 月 1 日、日曜日コース 3 月 2 日)
NLP パート ～交渉力・観察力・問題解決力～
- 第 4 日： (土曜日コース 3 月 8 日、日曜日コース 3 月 9 日)
PLAY パート～演劇メソッドで鍛える身体特性～
- 第 5 日： (土曜日コース 3 月 15 日、日曜日コース 3 月 16 日)
S-PLAY パート～シチュエーション設定によるプロデュース実践シミュレーション～
- 研修後： 第 2 回 EQ 検査事後実施及びフィードバック送付

EQ 検査について

EQ (Emotional Intelligence Quotient) 検査は、すでに、経営者、セールスマン、弁護士など、あらゆるビジネスシーンにおいて、優秀な人材の能力開発に寄与している人材能力測定ツールです。

この科学的に検証されたツールにより、多数の実績あるプロデューサーの EQ 能力及び行動特性を測定することが可能となり、ヒットを生み出したプロデューサーの能力タイプを明らかにすることで、ヒット・プロデューサーの能力開発プログラムの作成も可能となりました。

DPHP (Development Program for Hit-Producers) について

・DPHP とは

HCL の「ヒット・プロデューサーの EQ 能力測定」研究から得た知見を基に、HCL 社が開発したプログラムで、ヒット・プロデューサーになるために必要な EQ 能力と行動特性を開発するプログラムです。

・DPHP の構成

大学・専門学校向けの DPHP1 (スタンダード) と、大学院生向け及び社会人の再教育向けの DPHP2 (プロフェッショナル) とがあり、ともに EQ パート、NLP パート、PLAY パート、S-PLAY パートで構成されています。

・今後の展開

2008年春までに、学校向けプログラムの正規プログラムである DPHP1 及び 2 の Ver1.0 を開発の予定です。また、ビジネスパーソン向けの「DPHP for ビジネス・プロデューサーズ (DPHP4BP)」以外にも、各企業ニーズにあったプログラムのカスタマイズが可能で、順次開発の予定です。

行動特性 5UP1DOWN について

24 の行動特性のうち、HCL の研究により明らかになったヒット・プロデューサーに特徴的な傾向が見られる行動特性 (ヒット・プロデューサーが総じて高い行動特性 10 及び総じて低い行動特性 2) のうち、能力開発が可能でヒット・プロデューサーに必須の行動特性を指します。ストレス対処、ノンバーバルスキル、対人問題解決力、情緒的感受性及び状況モニタリングの 5 行動特性は数値を上げ、感情的被影響性は下げるということから 5UP1DOWN と総称します。

ヒットコンテンツ研究室 (HCL) について

吉田教授が提唱する「ヒット学」を科学的に検証し、進化させる為の研究室として 2005 年 9 月、デジタルハリウッド大学院内に設立。

ヒットを生み出した実績あるプロデューサーに対して EQ 検査をおこない、必要とされる能力像を具現化し、能力開発プログラム策定に利用可能な能力分析研究とヒット現象の数理モデル分析により、ヒットのメカニズムを解明することを目的としている。

本研究においては、幅広く多くの多様な研究機関とアライアンスをおこない研究を実施中。

株式会社ヒットコンテンツ研究所 会社概要

社名：株式会社ヒットコンテンツ研究所 (Hit Content Laboratory Inc. 略称 HCL)

所在地：東京都千代田区神田駿河台 2 - 5 - 4 お茶の水中央ビル5階

設立日：2007年2月13日

資本金：1,500万円

代表者：吉田就彦

株主構成：有限会社ワイズハウス、デジタルハリウッド株式会社、EI リサーチ株式会社

事業概要： ヒット・プロデューサー能力開発事業 (DPHP 事業)

人材能力開発コンサルティング事業

ヒット分析によるマーケティングサポート事業

吉田就彦教授について

ヒットコンテンツ研究所 代表取締役社長 / デジタルガレージ 顧問 / (株) ティーツー 取締役

キャニオンレコード (現 株 ポニーキャニオン) で、音楽・映像・マルチメディアの制作・宣伝業務に 20 年間従事。制作ディレクターや宣伝プロデューサーとしてチェッカーズ、おニャン子クラブ、中島みゆき、「だんご 3 兄弟」など数々のヒットを手がける。映画プロデューサーとして「教祖誕生」「KAMIKAZE TAXI」なども制作。デジタルガレージに転職後、EC 事業立ち上げ、コンテンツビジネスのコンサルティングなどを行う。

著書「ヒット学 コンテンツ・ビジネスに学ぶ 6 つのヒット法則」。



デジタルハリウッド大学院 <http://gs.dhw.ac.jp/>

【当セミナーに関するお問い合わせ先】

株式会社ヒットコンテンツ研究所 担当：吉田、日高

Mail ; info@hitcontentlab.jp

TEL : 03 - 5281 - 9226 FAX : 03 - 3292 - 2233

【当プレスリリースに関するお問い合わせ先・取材お申し込み先】

デジタルハリウッド株式会社 経営企画室 広報担当：川村 (mail:press@dhw.co.jp)

TEL : 03-5281-9248 FAX : 03-3292-2233